



ヌノ・カルヴァーリョ NUNO CARVALHO

パートナー

+55 21 3550 3708
nuno.carvalho@lickslegal.com

業務分野

- ・ 独占禁止法
- ・ 特許
- ・ 工業意匠
- ・ 商標
- ・ 不正競争
- ・ 方針決定

言語

- ・ ポルトガル語
- ・ 英語
- ・ フランス語
- ・ スペイン語

Nuno Pires de CarvalhoはLicks特許法律事務所の知的財産、方針決定、競争分野を強化するため、2016年にパートナーとして入所しました。Licks特許法律事務所へ入所する以前は、スイスのジュネーブにある世界知的所有権機関(WIPO) 知的財産・競争方針決定責任者を務めていました。16年間のWIPO国際局在籍期間中は、遺伝資源および関連する伝統的知識の保護、産業財産権分野のTRIPS関連義務の実施関連および多国間自由貿易協定の義務実施に関わる多数の発展途上諸国の法的支援、知的財産・競争法・方針の連携の3つの主要分野で活動していました。

さらに、1996～1999年までの3年間、スイスのジュネーブにある世界貿易機関(WTO) で知的財産部門の顧問を務めていました。この職務中にTRIPS会議を補助し、発展途上国のTRIPS義務実施の支援をしました。ブラジル国内では、1976～1995年までの20年間、ミナスジェライスに拠点を置く日系ブラジル鋼鉄企業ミナスジェライス製鉄所(USIMINAS/ウジミナス社)で、知的財産案件担当の社内弁護士を務めました。2019年以降は、サウジアラビアの知的財産当局の国際諮問委員会のメンバーを務めています。

さらに、1996～1999年までの3年間、スイスのジュネーブにある世界貿易機関(WTO) で知的財産部門の顧問を務めていました。この職務中にTRIPS会議を補助し、発展途上国のTRIPS義務実施の支援をしました。ブラジル国内では、1976～1995年までの20年間、ミナスジェライスに拠点を置く日系ブラジル鋼鉄企業ミナスジェライス製鉄所(USIMINAS/ウジミナス社)で、知的財産案件担当の社内弁護士を務めました。2019年以降は、サウジアラビアの知的財産当局の国際諮問委員会のメンバーを務めています。

米国のワシントン大学ロースクール(モンタナ州セントルイス)で法学修士号(LL.M)と法学博士号(SJD)を取得しています。また、ミナスジェライス連邦大学(ブラジル)ロースクールで法務博士号(JD)、法学修士号(LL.M)、法学博士号(SJD)を取得しています。

主な功績

- ・ Best Lawyers — 「Recommended」知的財産(2026年、2025年、2024年、2023年、2022年、2021年、2020年)
- ・ Legal 500 Latin America — 知的財産実務(2018年)
- ・ Legal 500 Latin America — 知的財産実務(2017年)

所属

- ・ ポルトガル知的財産権協会 顧問委員会委員 (APDI)
- ・ 米国連邦巡回区法曹協会 (FBCA)
- ・ ブラジル弁護士会 — ミナスジェライス支部 (OAB/MG)
- ・ ブラジル弁護士会 — リオデジャネイロ支部 (OAB/RJ)

学歴

- ・ ワシントン大学ロースクール(セントルイス) (WashU) 法学博士号 (S.J.D.) (1993年)
- ・ ワシントン大学ロースクール(セントルイス) (WashU) 法学修士号 (LL.M) (1991年)
- ・ ミナスジェライス連邦大学 (UFMG) 法学博士号 (S.J.D.) (1990年)
- ・ ポルトガルカトリック大学 (UCP) 法学修士号 (LL.M) (1989年)
- ・ ミナスジェライス連邦大学 (UFMG) 法学修士号 (LL.M) (1988年)
- ・ ミナスジェライス連邦大学 (UFMG) 法学士号 (LL.B.) (1980年)

執筆・論文

- ・ [How UK extraterritorial decisions are undermining Brazilian judicial sovereignty and violating TRIPS](#), Managing IP, 2025.
- ・ [米国発の「強制実施権」を商業的報復の手段として利用](#), JOTA, 2025.
- ・ [IPWatchdogライブ2025のパネリストによるグローバルIP動向の探求](#), IPWatchdog, 2025.
- ・ [1年では少なく、2年はちょうどよく、3年では多すぎるか。特許出願の審査請求は、3年がはるかに良い](#), Migalhas, 2024.
- ・ [ブラジルの特許有効性に関する議論を通して欠けている言葉: 誠実性](#), Migalhas, 2021.
- ・ [織物とファッションの知的財産 – 中世の織機からニューヨークファッションウィークまで: 資料集](#), Wolters Kluwer, 2021.
- ・ [今日のグローバル経済における競争政策と知的財産](#), ケンブリッジ大学出版局, 2021.
- ・ [バビロンからシリコンバレーまで – 知的財産の起源と進化: 資料集](#), Wolters Kluwer, 2020.
- ・ [古代から新型コロナウイルス感染症の大流行まで – 医薬品の知的財産と医療アクセス - 資料集](#), Wolters Kluwer, 2020.
- ・ [TRIPS協定の解説 – 第1巻](#), Lumen Juris, 2020.
- ・ [TRIPS協定の解説 – 第2巻](#), Lumen Juris, 2020.
- ・ [知的財産の発明: 古代から21世紀までの起業家精神および貿易の支援](#), 2019.
- ・ [商標と意匠のTRIPS協定](#), Wolters Kluwer, 2018.
- ・ [特許と試験データのTRIPS協定](#), Wolters Kluwer, 2017.
- ・ [シーシュポスのよみがえりか。遺伝資源と伝統知識に関するWIPOの取り組み \(生物多様性と法律のラウトレッジのハンドブックに掲載\)](#), 2017.
- ・ [IPおよび独占禁止法 – 8つの事例における知的財産の競争政策](#), Wolters Kluwer, 2015.
- ・ [技術標準、知的財産、競争 – 全体的視点](#), ワシントン大学政策ジャーナル第61号, 2015.
- ・ [不正競争法の進化における最近の動向 \(ジュネーブ大学、不正競争の課題に掲載\)](#), 2014.
- ・ [TRIPS協定によって確立された特許法の規則 \(RPL\) と発明よりも貿易を推進するその役割 \(グローバルな視点から見た特許法に掲載\)](#), オクスフォード大学出版局, 2014.
- ・ [規制された市場における知的財産: 医薬品および自動車業界の事例](#), Juruá Editora, 2013.
- ・ [明らかに時代遅れの特許: 脱工業社会の特許 – サービス特許の事例](#), Kluwer Law International, 2012.

- 知的財産の統一理論を目指して: すべての構成要素を結び付ける糸としての差別化能力 (および機能). 世界知的財産ジャーナル第15号251. 2012.
- [特許発明の社会価値の定理と幸福マシン特許症候群 – 社会が基本的な特許を激しく攻撃する理由](#). IBPI電子レビュー第3号. 2010.
- [ブラジル特許制度の200年](#). Lumen Juris. 2009.
- 特許および商標制度の構造 – 過去、現在、未来. Lumen Juris (リオデジャネイロ). 2009.
- 「シャーマンの小屋から特許庁まで: 建設中の道」生物多様性と法律 – 知的財産、バイオテクノロジーおよび伝統的知識. Charles McManis (編). Earthscan. 2007.
- 韓国特許庁 (KIPO) における「医薬品試験データに関する不正競争の抑止 – パリ条約からTRIPS協定、そしてその先へ」. 知的財産に関する学術論文: 韓国特許庁30周年記念出版. KIPO. 2007.
- [独占禁止法と非開示情報のTRIPS制度](#). Kluwer Law International. 2007.
- [特許権のTRIPS制度](#). Kluwer Law International. 2005.
- シャーマンの小屋から特許庁まで: 遺伝資源の起源と事前の通報・同意手続開示のためのTRIPS整合要件の模索. ワシントン大学政策ジャーナル第17号. 2005.
- 遺伝子特許の問題. ワシントン大学グローバル研究ジャーナル第3号701. 2004.
- [Nuno Pires de Carvalho: 生物多様性の保護. サンパウロ研究財団 \(FAPESP\) の調査](#). 2003.
- 特許の主な機能. 大学技術・政策誌第1号25. 2001.